

道徳科学習指導案

令和元年 9月10日(火)
5年生

- 1 主題名 セルフジャッジ
- 2 資料名 セルフジャッジ
- 3 本時のねらい きまりの存在意義について主体的に考え、理解を深めている。
- 4 本時の展開

	学習活動	○主な発問 ◎中心発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導入 (5分)	①きまりが何のためにあるのか考えさせる。	○きまりって必要ですか? Yes/No C: 必要! みんなが気持ち良く過ごせるため。 C: 守らない人がいると、嫌だ! C: きまりが多いと楽しくない。	・きまりについて授業前の児童の既存意識を出させる
展開 (25分)	②「セルフジャッジ」を読んで、きまりを守る大切さについて考える。	○なぜ守れなかったのかな? C: どうしても試合に勝ちたかったから。 ○勝つためだったらルールを無視していいんだよね? C: ルールを守らないとみじめな思いをする人が出て、ケンカになる。 C: いんちきをして勝っても楽しくない。 ○なぜ面白くなくなったのかな? C: 自分の気持ちのコントロールがむずかしい。 C: 人によって判断基準が違うから。 ☆理想的なゲームの進め方について、①～④をもとに考える。 ①ルールを守って勝つ ②ちょっとルールを破って勝つ ③ルールを守って負ける ④ルールを破って負ける	・セルフジャッジって何がむずかしいのか考えさせる。 ・ルールを守れない理由をたくさん出させる。 ○優先順位を考えさせる。 ・②と③で迷う? いんちきしてまで勝ちたい人、いんちきしてまで勝ちたいとは思わない、楽しみたい人
終末 (15分)	③本時のねらいに迫るきまりについて考える。 ④ふりかえり	◎きまりは何のためにありますか? C: みんなが楽しく過ごすため。満足するため。 ・みんなできまりをつくっていくことが大事。 ・学校生活を楽しく過ごすためには様々なきまりが必要。	・きまりはみんなが安全に楽しく過ごせるためのものだという事に気付かせたい。

- 5 本時の評価 きまりの存在意義について主体的に考え、理解を深めていたか。